

今月の特集関連本 ⑫



内科診療 ストロング・エビデンス

谷口俊文＝著

本体 3,500 円＋税／A5 判・340 頁／医学書院／2014

『週刊医学界新聞』の連載「レジデントのための Evidence Based Clinical Practice」をグレードアップして書籍化。米国内科専門医が、コモン・ディジーズの標準治療と、その根拠を支える重要な臨床研究を紹介するなかで、「肺塞栓症」「心房細動」「慢性心不全」「急性肺水腫」「急性冠症候群」「非心臓手術時の循環器評価」「周術期における薬物療法の管理」と、多数の循環器診療関連項目を扱う。「すべての医療行為はエビデンスに基づいた標準治療を理解していることから始まる」（序文より）。米国流内科診療アプローチの真髄がここに！



《ジェネラリスト BOOKS》 健診データで困ったら

よくある検査異常への対応策

伊藤澄信＝編

本体 3,600 円＋税／A5 判・192 頁／医学書院／2017

健診の検査項目がますます多様化する今日、異常値の出た健診結果をもってやってくる患者への対応にとまどう一般医は少なくない。「心電図で“非特異的 ST-T 変化がある”と言われたら」、「NT-proBNP が異常値だったら」など、外来で一般医が困る健診データ異常のパターンを集め、基本対応とそのエビデンスを示した。好評のうちに完売した本誌特集「健診データで困ったら」（2012 年 5 月号、2015 年 8 月号）をアップデートし書籍化。